

公益社団法人日本地球惑星科学連合
平成 29 年度 6 回理事会議事録

1. 開催日時 平成 30 年 3 月 27 日 (火)
15 時 00 分から 18 時 15 分

2. 開催場所 東京大学理学部 1 号館 710 号室
(東京都文京区本郷 7-3-1)

3. 出席者 理事数 19 名
出席理事 16 名 (定足数 10 名 会議成立)
出席監事 3 名
オブザーバー 12 名

4. 議長 理事 川幡 穂高

5. 出席役員

理事 川幡 穂高
理事 田近 英一
理事 中村 正人
理事 古村 孝志
理事 井出 哲
理事 奥村 晃史
理事 北 和之
理事 木村 学
理事 倉本 圭
理事 瀧上 豊
理事 津田 敏隆(ZOOM 出席)
理事 中村 昭子(ZOOM 出席)
理事 西 弘嗣
理事 浜野 洋三
理事 原田 尚美
理事 日比谷 紀之
監事 北里 洋
監事 鈴木 善和
監事 氷見山 幸夫

6. 出席オブザーバー

宇宙惑星科学セクションボードプレジデント 高橋 幸弘(ZOOM 出席)
大気水圏科学セクションプレジデント 蒲生 俊敬

大気水圏科学セクションバイスプレジデント 杉田 倫明(ZOOM 出席)
大気水圏科学セクション幹事 川合 義美
地球人間圏科学セクションプレジデント 春山 成子
固体地球科学セクションプレジデント 大谷 栄治
情報システム委員会 村山 泰啓
グローバル戦略委員会 サイモン ウォリス
学協会長会議幹事会(議長・日本第四紀学会) 齋藤 文紀
学協会長会議幹事会(日本地球化学会) 益田 晴恵
学協会長会議幹事会(地球電磁気・地球惑星圏学会) 渡部 重十
学協会長会議幹事会(日本気象学会) 岩崎 俊樹

15時00分、理事の定数に足る出席を確認後、会長川幡穂高は理事会が成立することを宣言し、第6回理事会を開始した。インターネット電話ZOOMを利用し、遠隔地から参加する津田敏隆理事、中村昭子理事、高橋幸弘プレジデント、杉田倫明バイスプレジデント、渡部重十学協会長会議幹事会委員、および岩崎俊樹協会長会議幹事会委員が審議に参加できることを確認した。

【前回議事録確認】

第5回理事会議事録について、確認し、了承された。

7. 審議事項

第1号議案 新入会員承認の件

定款第8条2項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を承認した。

第2号議案 委員会委員承認の件

グローバル戦略委員会およびジャーナル編集委員会の新規委員を承認した。

第3号議案 平成30年度事業計画書および収支予算書承認の件

古村孝志理事より、平成30年度事業計画案について説明があり、審議を行った。若干の字句修正については、総務委員会に一任することで、事業計画として承認した。平成30年度収支予算書について、北和之理事から説明があり、審議を行った。予算書について承認した。

第4号議案 事務局員(常勤)就業規則制定の件

古村孝志理事より事務局員(常勤)就業規則案について説明があり審議を行った。12号議案までの規則案の骨子について説明があり、「骨子の内容」の部分については問題ないことを確認し、了承した。規則案については次回理事会までに、関連する手続きなどを処理、次回理事会にて、最終審議をすることとした。
なお就業規則については次回7月職員契約更新までに設置する予定である。

第5号議案 事務局員（非常勤）就業規則制定の件

古村孝志理事より事務局員（非常勤）就業規則案について説明があり審議を行った。継続して審議することとした。

第6号議案 ジャーナル事業事務局員（常勤）就業規則制定の件

古村孝志理事よりジャーナル事業事務局員（常勤）就業規則案について説明があり審議を行った。継続して審議することとした。

第7号議案 ジャーナル事業事務局員（非常勤）就業規則制定の件

古村孝志理事よりジャーナル事業事務局員（非常勤）就業規則案について説明があり審議を行った。継続して審議することとした。

第8号議案 退職金規則制定の件

古村孝志理事より退職金規則制定の件案について説明があり審議を行った。継続して審議することとした。

第9号議案 慰労金規則制定の件

古村孝志理事より慰労金規則案について説明があり審議を行った。継続して審議することとした。

第10号議案 賃金規則制定の件

古村孝志理事より賃金規則案について説明があり審議を行った。継続して審議することとした。

第11号議案 フレックスタイム労使協定書制定の件

古村孝志理事よりフレックスタイム労使協定書案について説明があり審議を行った。継続して審議することとした。

第12号議案 時給規則改正の件

古村孝志理事より時給規則案について説明があり審議を行った。継続して審議することとした。

第13号議案 「学生旅費補助特定費用準備資金」取り扱い規則設置の件

北 和之理事、古村孝志理事より「学生旅費補助特定費用準備資金」取り扱い規則案について説明があり審議を行った。案の通り承認した。

第14号議案 2018年度連合フェロー認定について

中村正人理事より、フェロー審査委員会にて推薦された受賞候補者の報告があり、委員会の推薦の通り12名をフェローとして承認した。

第 15 号議案 日本地球惑星科学連合学術賞（三宅賞）受賞者認定について

中村正人理事より、三宅賞審査委員会にて推薦された受賞候補者の報告があり、委員会の推薦の通り受賞者として承認した。

なお委員会より、選外となった候補者を次回に候補者とするかどうかについて理事会で諮るよう依頼があった。検討した結果、理事会としては、「当該候補者からも再度応募書類を提出していただくほうが良い」と回答することとなった。

8. 報告事項

(1) 川幡穂高代表理事職務報告

川幡代表理事より役員候補者推薦委員会の活動について報告があった。3月26日に開催された委員会にて理事候補者選挙結果に基づき理事候補者20名と監事候補者3名を定時社員総会へ推薦することを審議、承認したことが紹介された。

財務委員会委員および総務委員会委員の任期が各委員会規則により最大三期と制限されているが、これでは委員会の継続性と委員の経験の蓄積を損なうのではないかと指摘があった。今後、総務委員会と併せて規則を継続して検討してゆくこととなった。

(2) 田近英一理事（広報普及担当）職務報告

広報普及委員会の活動報告があった。プレスリリース選出のフロートスケジュールについて説明した。

JGLの広告収入見込みについて説明があり、連合の収益に貢献しているということが示された。

(3) 中村正人理事（顕彰担当）職務報告

顕彰関連活動について報告があった。2018年大会での学生旅費助成の審査及び受賞者について報告があった。141名のうち61名を採択した。応募動機が完全に重複している応募者があり、この応募者は0点とした。次回から剽窃対策ソフトの導入を検討する。

応募動機を求める文章について誤解を招く恐れのある表現となっているので、今回はこれを再検討する。

(4) 古村孝志理事（総務担当）職務報告

2017年度選挙について報告があった。申し送り事項を報告した。今回新たな投票方法を用いたが、投票の際にマークする位置や投票可能上限数について間違えることのないように改善する。また選挙の名称の年度を、選挙を実施する年度としているが、任期が開始する年度とすることを検討する。また、公開する候補者の所属を立候補・推薦時の表記の通りとしているため表記にゆれがある。これについては例を表示することで改善を図るという提案があった。

代議員選挙の投票率についても改善の必要性があるとの指摘があった。引き続き対策を検討することとした。

事業報告の作成準備状況についても説明があり、案が提出された。この案を委員会・セクション毎に再度確認し、修正等があれば5月の理事会審議までに総務委員会まで連絡する

よう、依頼があった。

(5) 北和之理事報告（財務担当）職務報告

財務委員会の活動について報告があった。作成中の本年度の決算について現段階での状況が説明され正味財産増減計算書内訳書における法人会計への組み入れ額としては会費収入の50%と大会参加料収入の10%を予定している旨の報告があった。また、本年度の寄付金受け入れ状況の説明があった。

(6) 倉本圭理事（ジャーナル担当）職務報告

ジャーナルの出版状況について報告があった。順調に出版・編集を行っている。科研費申請時のヒアリングに用いた資料が示され、質疑応答等当日の様子について説明があった。Impact Factorの数値見込みについて説明があった。

投稿から出版までの所要時間も重要であるとの指摘があり、次の理事会に参考資料を提出するとの回答があった。

(7) 浜野洋三理事（大会運営担当）職務報告

大会の準備状況について報告があった。発表の採択が決まり、すでにプログラムの一般公開を行った。2016年大会に比べて2017年大会で増加した海外投稿者数のうち、約半数程度が2018年大会にも投稿していることが示された。

大会時のイベントの準備状況について説明した。

Presidential Receptionの参加者（Host, Guest）について、コメントがあれば事務局に連絡するよう依頼した。

(8) グローバル戦略委員会活動報告

グローバル戦略委員会の活動報告があった。会議の開催報告を行った。MOUの改訂、AGU Fall Meetingでのブース展開、オープンサイエンス関連の動向などの説明があった。

海外広報についての議論が紹介され、海外へのプレスリリースが必要なのではないかとという提案があった。これについては広報普及委員会が中心となり今後検討することとした。

(9) 教育検討委員会活動報告

教育検討委員会の活動について報告があった。小委員会開催の報告、パブリックコメントの提出、地学地理オリンピックの本選と代表選出について、Earth Science Week in Japanの準備状況、教員免許更新講習の申請および準備状況について説明した。

(10) 情報システム委員会活動報告

情報システム委員会の活動について報告があった。AGU Fall MeetingではESSIセッションを作成すること、RDAにおける地球科学宇宙科学データの部会の設置について説明があった。

議長は以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(18時15分)
以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席役員は次に記名・押印する。(捺印欄配布時省略)

平成30年3月27日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第6回理事会

出席理事	川幡	穂高	印
出席理事	田近	英一	印
出席理事	中村	正人	印
出席理事	古村	孝志	印
出席理事	井出	哲	印
出席理事	小口	高	印
出席理事	小口	千明	印
出席理事	奥村	晃史	印
出席理事	北	和之	印
出席理事	木村	学	印
出席理事	倉本	圭	印
出席理事	瀧上	豊	印
出席理事	津田	敏隆	印
出席理事	中村	昭子	印
出席理事	西	弘嗣	印
出席理事	浜野	洋三	印
出席理事	原田	尚美	印
出席理事	日比谷	紀之	印